

併合で難民が移住し、乱伐が進み不毛の地と化したのである。

第2650地区は、ヒマラヤ環境保全の一助にと、第3250地区カトマンズRCとの共同WCSとして、この地に緑の再生と生活文化向上の拠点となるコミュニティセンター建設を計画した。林ガバナー夫妻、杉山PGはじめ、24名の地区奉仕団、第3250地区チャンドラモハン・ガバナーにカトマンズRCメンバーなど16名がセンターハウスの前に立つ。セラチャン郡長ら地元老若男女総勢が出迎える中でテープカット。そのあと、荒地に再び緑がよみがえることを願い、百人余の小学生たちと林檎、杏桃の苗木を植えた。

このセンターが生活文化の向上と薬草による伝統医療の基地となり、果樹、薬草の栽培と加工での地場産業育成の場となり、トレッカーたちの憩いの場所、伝統文化の情報発信地となり、この地を富ませることを願う。(国際ロータリー第2650地区「地区史」2000年10月より)

武生ロータリークラブの課外授業

武生商業高校 12教室1・2学年293名(男70名・女223名)

2月13日(水) 15:35~16:25

- 青柳 隆治 (株)ふじや食品 取締役総務部長
「加工食品業界の現状と社会人として成功する秘訣」
- 藤井信太郎 (株)藤井商店 代表取締役副社長
「きみを幸せにする会社 ~創業200年企業の後継者
が10年で気がついたこと~」
- 山崎 正人 武生信用金庫 味真野支店長代理
「進路と就職について」
- 上野谷譲二 (株)アイジーエー 常務取締役
「ファションビジネスについて」
- 坪内 利子 越前市社会福祉協議会 ホームヘルプサービスセンター
サービス提供責任者 「ホームヘルパーの仕事」
- 竹内 正美 北陸電力(株) 丹南支社長
「企業が求める人材とは」「北陸電力の企業紹介」
- 折田 耕三 みづほ証券(株)武生支店 支店長
「日本の金融について!」
- 宮本 俊 (株)ダイエイコテック 代表取締役
「組織が求める人材/求めない人材とは~世代間認識を超えて~」
- 西藤 浩一 武生商工会議所 専務理事
「私の履歴書」
- 中西 真三 越前市議会議員
「市議会議員の仕事とは」
- 渡辺 哲弘 (株)オーシンエムエルピー 代表取締役
「企業が求める人材 企業が求めない人材」
- 宮前 貴司 日本マクドナルドフランチャイジー
ティーエムエー 代表取締役・オーナー・オペレイター
「マクドナルドを通じて学ぶ
~目標を持つこと、夢を持つことの大切さ~」

武生東高校 2月14日(木) 13:50~15:25

- 八木久美子 シルバーケア藤 栄養管理士「栄養士」
- 山口 里美 愛星保育園 園長 「幼児教育」
- 本田早智代 中村病院 看護師 「看護」
- 小島 久佳 リコージャパン(株)
中部営業本部管理センター 総務グループリーダー
「IT(ネットワーク)」
- 加藤 佳紀 福井新聞編集局次長「マスコミ関係」

プログラム

新入会員卓話 私の履歴書

西藤浩一会員



社会人スタートは県外企業で、最初に学んだこととして、徹底した人材育成・仕事の進め方・業務改善への姿勢でした。その後公務員になり仕事は法令からという事で、日本国憲法(国)

条例(251) 規則(292) 訓令(643) 総計1,186本あります、時間をなんとかやりくりしながら勉強したもので、43年間を振り返って思うことですが、
1. 職場(仲間)を大切に……心の支え
2. 学習を怠らず……「知識」と「知恵」の両輪で
3. 「何でも見てやろう」精神で……視野を広く
4. 逆境に強くなれ……ピンチをチャンスに
5. 先人に学べ……上には上がいる
6. 改善意識を失わない……どこかに穴はある
7. 判断力を育てる……決め事に真ん中はない等々
会員皆様の御指導宜しくお願ひいたします。

自己紹介 矢尾主成会員

幼少期は祖父母に育てられ、幼稚園まで毎日仕事の関係で市役所で遊んでいた記憶があります。高校では弓道部へ入部し自分が部長を務め北信越大会にて活躍していたものです。実家の仕事をの関係先で就職をし、その時の経験が今の仕事にかなり役立っています。また30歳で武生商工会議所青年部に入り、平成22年には会長、今は県の専務理事をさせてもらい、世の為人の為に働いているという満足感があり今後とも活躍していく所存です。

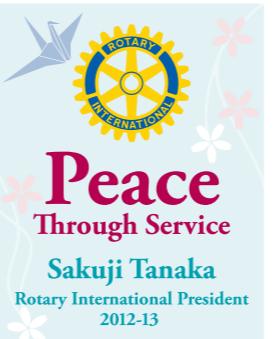
この伝統あるロータリーに入会し、まだまだ自己研鑽していく思いですので会員皆様の御指導宜しくお願ひいたします。

ニコニコ箱 17,000円

○渡辺副会長 ○谷尾 栄一 ○倉橋 孝治
○宮本 俊 ○橋本 幸恵 ○竹内 正美

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650

2013.2.19 No. 2270



TAKEFU WEEKLY



Rotary Club of Takefu

創立/1954年(昭和29年)6月30日

事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内

TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp

例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館

会長/佐々木忠彦 幹事/河嶋 一 会報委員長/丹羽 新吾

Bridge the Gaps

2012-2013 第2650地区テーマ
隔たりをなくそう

嘱を受け、世界社会奉仕委員長として、独自の存在感を示された松久保秀胤老師(薬師寺貴主)の文章は、林先生を崇拜されての好意に満ちた字句が光る。

林ガバナー時代の事蹟については、多くのロータリアンの一一致した意見として、

1. ジョムソンでの壮大な世界社会奉仕、
2. 白砂青松、桜花爛漫の三国での地区大会、
3. 北の大地、北海道の自然を舞台にした統一ライラの三つがある。

七年間在籍された旧制富山高校の庭でもあった剣岳を出発点に、京大学士山岳会、そして、令名高き、今西錦司氏を頂点とする登山家たちの交流は、医師としての名声とともに、多くの人士が愛した林一彦像は、リーダーの条件としての、人望、使命感、洞察力に秀れ、自然を愛し、厳しい山男としての厳しさもさることながら、周囲に気を使い、自分自身にはにかみ、その優しさを人に悟られることを嫌がった古武士の如き人であったと。

イギリスの詩人、ブラウニングの言葉に「人間の真価は、その人が死んだとき、なにをなしたかでなく、彼がいきていたとき、なにを為そうとしたかできるのである」まさに、先生の生涯を貫いた「胸を張れ、誇り高く生きよ」は、今に生きている。

林ガバナーの世界社会奉仕が、「ジョムソン」に花を咲かせ二十年が経過した。雄大なスケールで播かれた種が、どのように定着し、国際親善の実を結んだのか、改めて展望するのが今回の旅の目的である。そして、調査隊の報告を俟って、改めて検討し、何が必要であるかを決定するのが六十周年の事業となる。社会奉仕—ヒマラヤでエコロジー奉仕

1993年3月9日~16日 ネパール国ムスタン郡ジョムソン村
ジョムソンは間近にアンナプルナ山系の高峰ダウラギリ、ニルギリをのぞむ標高2,700メートルの高所。3月12日、狭隘な谷間を抜けてジョムソンに降り立つ。礫岩の荒地が広がる。かつて周辺の山麓はシャクナゲなどの緑に覆われていたのだが、中国のチベット